

きのくに I C Tプログラミングコンテストほ
Switch Up WAKAYAMA 2020 募集要項

1 開催趣旨

和歌山県では令和元年度（2019年度）から、児童生徒が、コンピュータやネットワークの仕組み及びこれらの活用が進展している社会の動きについて基礎的な知識を身に付けるとともに、これらに親しみ、使いこなすことができる力を育むことができるよう、県内全ての小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等において、発達の段階に応じた体系的な I C T 教育を実施すると共に、県内におけるIT人材の育成に関する課外活動等の教育（以下「きのくにICT教育」という。）も推奨しているところです。

本コンテストは、きのくにICT教育における児童生徒の学習成果を示す場とし、児童生徒が、コンピュータを活用しながら生活や社会における課題を発見・解決する力を身に付けさせ、これからの社会をよりよく生きていく力を育むことを目的としています。

2 募集作品

児童・生徒等が、地域の自然・文化・歴史そして人々に目を向け、そこから得たアイデアをもとに、創意工夫を凝らした作品。

3 募集内容

ロボット、ゲーム、A I、IoT、セキュリティ等に関する児童生徒自らが作成したコンピュータプログラミング作品で、動作・実行が確認でき、募集テーマに則した作品。

4 審査のポイント

- (1) 観察力・発想力・独創性
- (2) 技術力・完成度
- (3) 地域性
- (4) 社会へのインパクト

5 主催等

- (1) 主催 和歌山県、和歌山県教育委員会
- (2) 後援等 調整中

6 募集部門及び参加資格

(1) 小学校の部

以下の者からの作品を募集します。

ア 和歌山県内の小学校、義務教育学校（前期課程）及び特別支援学校小学部に在籍する児童

イ 和歌山県内に住所を有する者であって、小学校、義務教育学校（前期課程）及び特別支援学校小学部に在籍する児童

(2) 中学校の部

以下の者からの作品を募集します。

- ア 和歌山県内の中学校、義務教育学校（後期課程）及び特別支援学校中等部に在籍する生徒
- イ 和歌山県内に住所を有する者であって、県外の中学校、義務教育学校（後期課程）、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中等部に在籍する生徒

(3) 高等学校の部

以下の者からの作品を募集します。

- ア 和歌山県内の高等学校及び特別支援学校高等部の生徒並びに高等専門学校の学生（1年次から3年時の者に限る。）
- イ 和歌山県内に住所を有する者であって、平成15年4月1日以前生まれの満18歳以下の者（ただし、(1)から(3)のアに該当する者を除く）

7 各部門等の表彰

- (1) 小学校の部 優秀賞
- (2) 中学校の部 優秀賞
- (3) 高等学校の部 優秀賞
- (4) 最優秀賞

※その他の賞の授与も予定しています。

8 募集期間

令和2年7月1日（水）～**12月11日（金）** 必着

9 応募方法

参加者は、「1 開催趣旨」、「2 募集作品」及び「3 募集内容」に合致する作品を作成し、以下の提出物を募集期間内に事務局電子メールアドレス宛にメールで提出してください。

【提出物】

（学校から申込み場合）

- ①エントリーシート（様式1）
- ②作品の内容がわかる動画<3分以内>
- ③作品のコード等がわかる資料

（個人で申込み場合）

- ①エントリーシート（様式1）
- ②作品の内容がわかる動画<3分以内>
- ③作品のコード等がわかる資料
- ④エントリーする全児童生徒の保護者からの同意書（様式2）

【提出先】

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

きのくにICTプログラミングコンテスト 事務局 宛て（和歌山県庁商工観光労働部産業技術政策課内）

【メールアドレス】e0631001@pref.wakayama.lg.jp

【電話番号】073-441-2355

【ファックス番号】073-432-0180

10 審査の方法

審査は、2段階で実施します。

一次審査は、書類審査により行います。一次審査の結果は、HPで公表します。（一次審査通過者には、郵送にて通知します。）

二次審査（最終審査）は、一次審査を通過した応募者によるプレゼンテーションまたはデモンストレーション、及び審査委員との質疑応答により行います。

受賞の決定については、二次審査における外部の有識者等からなる審査委員の意見を踏まえ、知事等が決定します。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、開催方法及び審査方法等を変更する可能性があります。

11 最終審査

(1) 期日

令和3年1月24日（日）

(2) 場所

オンライン開催も視野に入れつつ調整中

12 審査委員等

審査委員は、情報工学に関する専門性を有する学識経験並びにプログラミング教育や情報人材育成に関する知識及び経験を有する実務経験者等から知事が選任します。

第5回全国小中学生プログラミング大会への推薦

今年度より、本コンテストで上位に入賞した児童・生徒（小学生・中学生）からなるグループ等を、日本全国の小中学生を対象としたプログラミングコンテストである「第5回全国小中学生プログラミング大会（以下「全国大会」という。）」へ推薦することが可能となりました。

全国大会への推薦に関しては、最終審査会終了後、対象グループに対して別途ご連絡いたします。（詳細未定）

13 個人情報及び著作物の取扱いについて

(1) 主催者が本コンテストの開催に際して得た個人情報は、和歌山県個人情報保護条例（平成14年12月24日 条例第66号）に基づき適正に取り扱い、無断で第三者に提供することはありません。ただし、書類審査（一次審査）を通過した者、または最終審査（二次審査）を経て受賞した者については、提出書類の以下の項目等を大会運営や広報のために公表することがあります。

【学校を通じエントリーした場合】

「学校名」、「児童生徒の氏名」、「児童生徒の学年」、「作品テーマ」、「最終審査会での様子（写真）」

【個人でエントリーした場合】

「児童生徒の氏名」、「児童生徒の学年または年齢」、「児童生徒の住所地の市町村名」、「作品テーマ」
「最終審査会の様子（写真）」

(2) 本コンテストへの参加にあたり、提出いただいた作品（ソースコード、アプリケーション、プレゼン資料等）の著作権は、作品の創作者に帰属します。

- 注1：プログラミング言語の種類は問いません。開発形式は、プログラミング言語による開発のほか、市販ライブラリや開発キット、オーサリングツールなどのソフトウェアの利用も可能です。
- 注2：個人又はグループでの応募が可能です。グループの場合、1グループは5名以下で結成してください。
- 注3：学校や学年が異なる場合でもグループとして応募することが可能です。
- 注4：学校の授業又は部活動の成果として応募する場合は、学校長の許可を得た上で、責任者及び最終審査まで通過した場合の引率教職員名を明記のうえ、応募してください。なお、同一教職員が複数のグループの引率者となることも可能です。
- 注5：児童生徒が学校とは別に個人又はグループで応募する場合は、保護者代表（最終審査まで通過した場合の引率者であり、事務局から連絡する際の連絡先となる方）及び在籍校・学年（グループの場合は、全ての児童生徒の在籍校・学年）を明記の上、応募してください。
- 注6：学年が異なる児童生徒でグループを形成する場合、年長の者が該当する部門に応募してください。また、グループを構成するメンバー全員が「6 募集部門及び参加資格」の要件に該当する必要があります。
- 注7：一校当たりの応募数に制限はありません。ただし、応募できるのは、一人一部門一作品に限ります。
- 注8：本コンテストへの応募、参加及び全国大会への参加に係る経費（郵送料、通信料、最終審査に参加する場合はその一切経費等）については、全て参加者の負担となります。
- 注9：応募作品の特許等知的財産の法的保護については、応募者の責任において対策を講じた上で、一般に公表しても差し支えない範囲で応募してください。
- 注10：他者の財産、名誉、プライバシー、特許権、著作権等その他の知的財産権等を侵害する作品並びに犯罪及び公序良俗に違反するような作品に応募することはできません。
- 注11：本コンテストの趣旨にふさわしくない作品に応募することはできません。

14 問合せ先

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

きのくにICTプログラミングコンテスト事務局

（和歌山県庁商工観光労働部産業技術政策課内 担当：矢野）

【メールアドレス】e0631001@pref.wakayama.lg.jp

【電話番号】073-441-2355

【ファックス番号】073-432-0180

【公式 Web サイト】 <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/063100/d00202376.html>